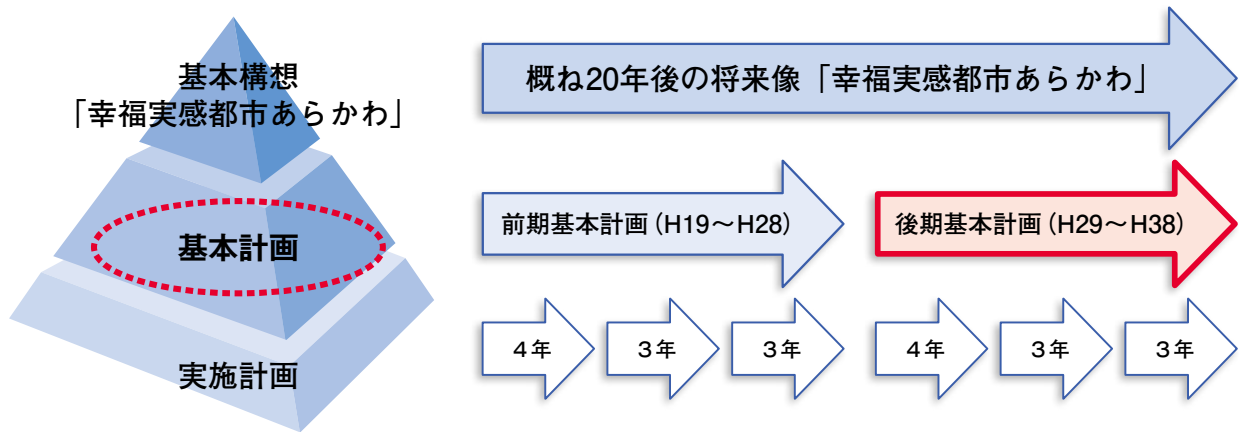


第1章

基本的な考え方

- 1 荒川区基本計画の位置付け
- 2 将来人口の想定
- 3 財政収支の想定
- 4 荒川区民総幸福度(GAH)の取組について

1. 荒川区基本計画の位置付け



- 区では、概ね20年後の将来像として「幸福実感都市あらかわ」を掲げ、平成18年度に荒川区基本構想（以下「基本構想」という。）を策定しました。
- 荒川区基本計画（以下「基本計画」という。）は、基本構想を実現するための10年間の計画として位置付けられており、基本構想と併せて平成18年度に前期基本計画を策定しました。
- 平成29年度から開始される後期基本計画は、前期基本計画の理念を踏襲しつつ、社会情勢の変化に対応するための新たな政策・施策の体系を示し「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指す計画として改定します。
- あわせて、基本計画において示した方向性を具体的に進めていくために、重点的に取り組む事務事業や目標値等を定めた計画として、荒川区実施計画（以下「実施計画」という。）を策定します。
- 実施計画は、基本計画の計画期間である平成29年度～平成38年度の10年間で、前期、中期、後期の3区分に分け、4年ないし3年ごとに改定を行います。

2. 将来人口の想定

平成 28 年 3 月に策定した『荒川区人口ビジョン』（以下「人口ビジョン」という。）の中で、2060 年までの人口の将来見通しについて 4 つのパターンで推計を行いました。

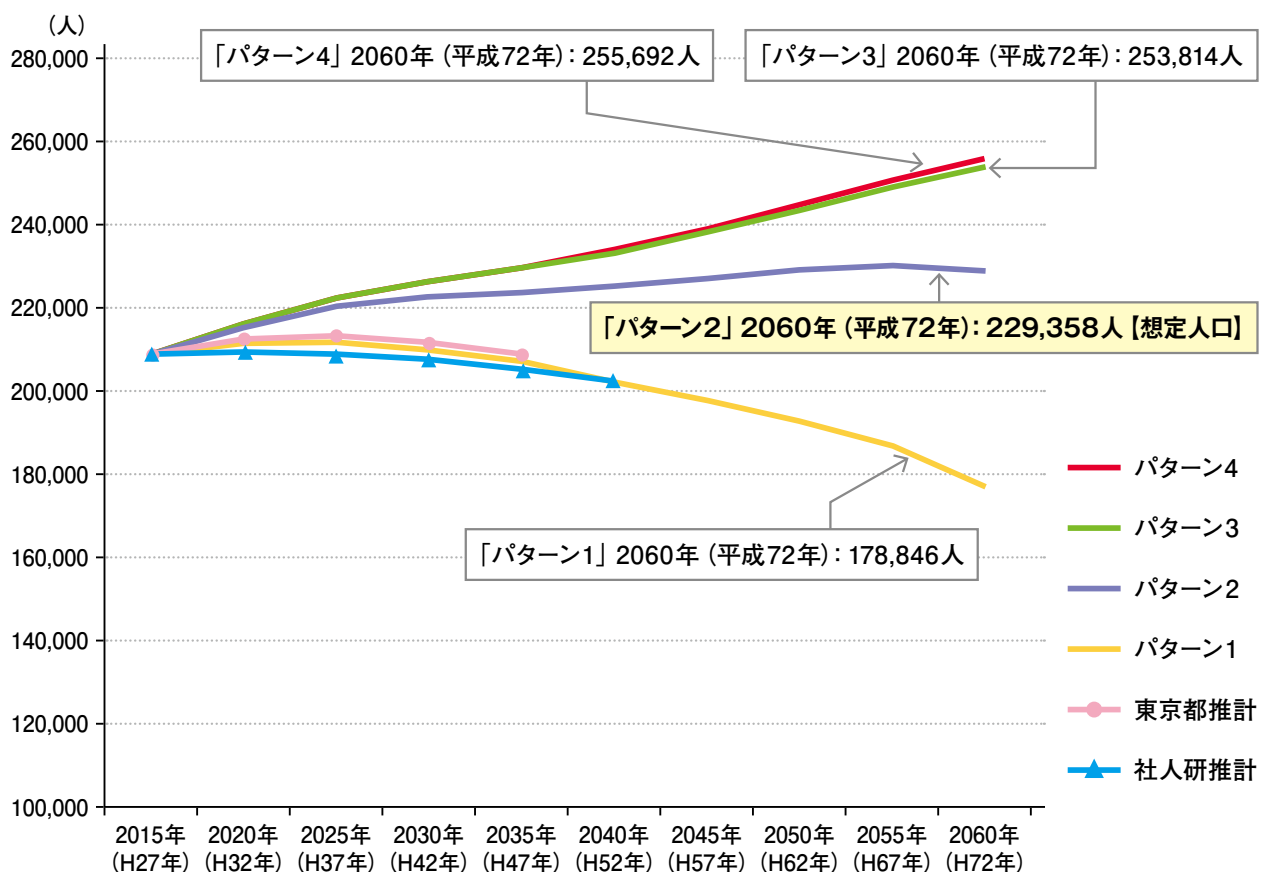
「パターン 1」は、現状から出生率や人口の定住率に特段の変化がなく、現状のまま時間が経過した場合を想定した推計です。

「パターン 2」は、区が出生率の向上や定住化促進施策等を実施したことにより、合計特殊出生率が全国平均レベル（1.43 ※平成 25 年時点）まで向上し、転入がパターン 1 よりも増加した場合を想定した推計です。

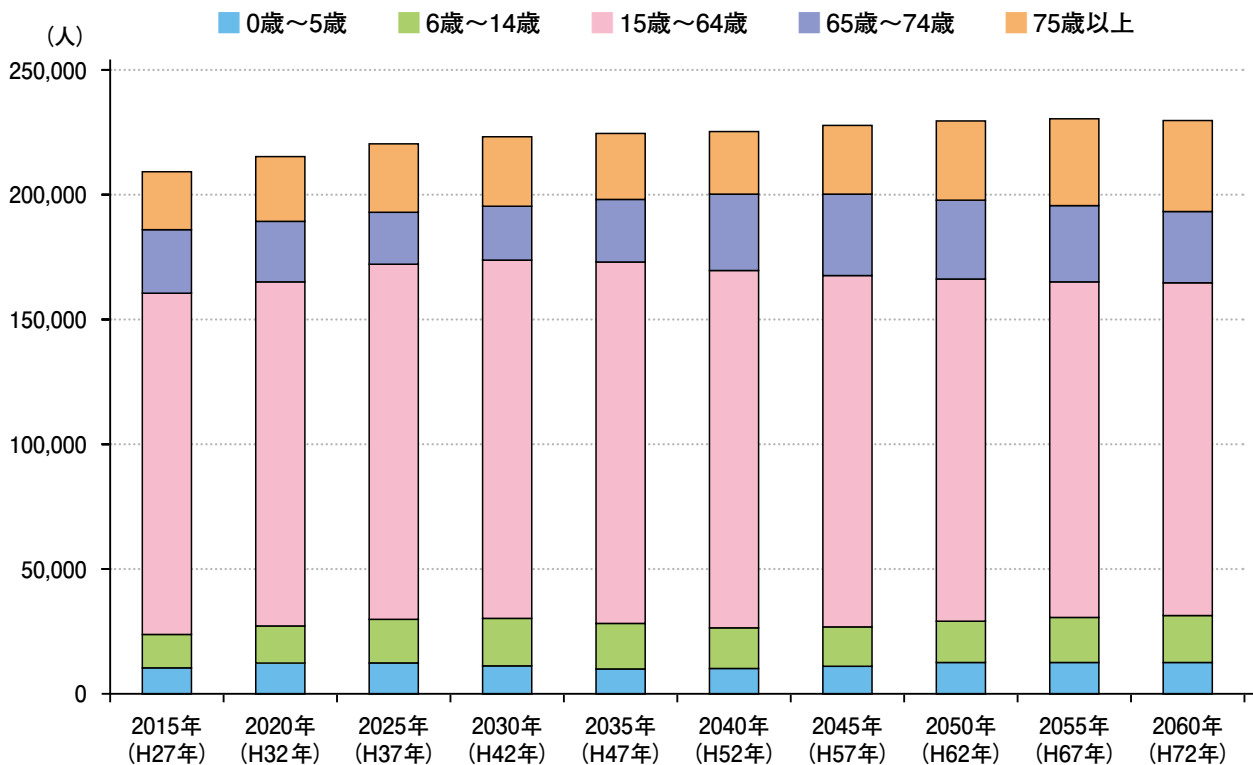
「パターン 3」は、区が出生率の向上や定住化促進施策等を実施したことにより、合計特殊出生率が、東京都が「希望出生率」として掲げる数値（1.76）にまで向上し、転入がパターン 1 よりも増加した場合を想定した推計です。

「パターン 4」は、区が出生率の向上や定住化促進施策等を実施したことにより、合計特殊出生率が、国が「希望出生率」として掲げる数値（1.80）にまで向上し、転入がパターン 1 よりも増加した場合を想定した推計です。

このうち、区では、「パターン 2」の 2060 年（平成 72 年）時点で、229,358 人の人口規模を想定人口としています。



<パターン2の年代別推計>



	2015年 (H27年)	2020年 (H32年)	2025年 (H37年)	2030年 (H42年)	2035年 (H47年)	2040年 (H52年)	2045年 (H57年)	2050年 (H62年)	2055年 (H67年)	2060年 (H72年)
0～5歳	10,483 5.0%	12,474 5.8%	12,456 5.7%	11,341 5.1%	10,269 4.6%	10,537 4.7%	11,493 5.1%	12,518 5.5%	12,878 5.6%	12,322 5.4%
6～14歳	13,610 6.5%	14,924 6.9%	17,613 8.0%	19,140 8.6%	18,069 8.1%	16,271 7.2%	15,670 6.9%	16,650 7.3%	18,196 7.9%	19,257 8.4%
15～64歳	136,567 65.3%	138,047 64.1%	141,684 64.3%	143,822 64.6%	145,114 64.8%	143,109 63.5%	140,423 61.7%	137,060 59.7%	133,715 58.1%	133,170 58.1%
65～74歳	25,307 12.1%	24,161 11.2%	20,935 9.5%	21,169 9.5%	24,993 11.2%	30,204 13.4%	32,647 14.4%	31,758 13.8%	31,052 13.5%	28,701 12.5%
75歳以上	23,120 11.1%	25,602 11.9%	27,654 12.6%	27,256 12.2%	25,425 11.4%	25,223 11.2%	27,192 12.0%	31,429 13.7%	34,493 15.0%	35,908 15.7%
計	209,087	215,208	220,342	222,728	223,870	225,344	227,425	229,415	230,334	229,358

- 0～5歳は、2020年まで増加後2035年まで減少し、再び2055年に向けて増加する見込みです。
- 6～14歳は、2030年まで増加後2045年まで減少し、その後は再び増加する見込みです。
- 75歳以上は、2025年まで増加後2040年まで減少し、その後は再び増加する見込みです。

3. 財政収支の想定

人口ビジョンや『荒川区公共施設等総合管理計画』（以下「総合管理計画」という。）、過去の実績などを考慮し、今後10年間の財政収支の推計を行いました。人口の増加などにより、歳入・歳出共に増加することを見込んでいます。今後も各種財政指標等の動向を注視しながら、健全な財政運営を行っていきます。

今後10年間の財政収支（平成29年度～平成38年度）の想定

（単位：億円）

（一般会計）		29～33年度	34～38年度	合 計
歳入	特別区税	821	840	1,661
	特別区交付金	1,868	1,863	3,731
	国・都支出金	1,186	1,204	2,390
	特別区債	100	100	200
	その他歳入	854	965	1,819
	歳入合計	4,829	4,972	9,801
歳出	人件費	838	830	1,668
	扶助費	1,552	1,688	3,240
	公債費	98	92	190
	普通建設事業費	380	392	772
	その他経費	1,961	1,970	3,931
	歳出合計	4,829	4,972	9,801

※金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、各項目を集計したものと合計金額の数値は一致しないことがあります。

【試算の前提条件】

上表は、基本計画の計画期間中における財政収支について、現行制度を前提に、以下の条件で想定したものです。

区 分		見 積 り の 考 え 方	
歳入	特別区税	現行税制を基本に、人口ビジョンなどを考慮し試算	
	特別区交付金	法人住民税の一部国税化による影響を考慮し試算	
	国・都支出金	建設補助金	普通建設事業費に連動
		その他	29年度予算と同額
	特別区債	毎年度20億円発行として試算	
	その他歳入	基金繰入金	普通建設事業費に連動
その他		地方消費税交付金は、地方消費税率の引上げの影響を考慮し、その他の交付金や使用料及び手数料等は29年度予算と同額	
歳出	人件費	今後の退職手当などを考慮し試算	
	扶助費	生活保護、高齢者福祉、子育て支援などの区分ごとに荒川区人口ビジョンなどを考慮し試算	
	公債費	既発債分	実償還額
		新発債分	毎年度20億円発行として償還額を試算
	普通建設事業費	総合管理計画などに基づき、今後の公共施設等の新築、更新需要などを考慮し試算	
その他経費	29年度予算と同額（地方消費税率の引上げの影響を考慮）		

4. 荒川区民総幸福度（GAH）の取組について

（1）荒川区民総幸福度（GAH）とは

荒川区では、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（事業領域）の下、「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指して、全ての区民の幸福実感をより一層高めるため、全国に先駆けて荒川区民総幸福度（Gross Arakawa Happiness：GAH）に関する取組を進めています。

区民の幸福度を測る指標の測定、分析を通じて、区民の幸福実感上の課題や地域において起きている課題を把握することにより、行政行動のターゲットを明確化し、幸福度向上のための最適な政策・施策・事務事業を実施していきます。

（2）GAH指標

荒川区民総幸福度（GAH）指標は、次ページの図表1のとおり、46の項目からなっています。指標は、「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の6つの分野ごとに、1つの上位指標と6～8個の下位指標があり、これらを総合する指標として、「幸福実感」指標があります。

図表1 荒川区民総幸福度（GAH）指標の体系

		分野	※上位指標	※下位指標	
荒川区民総幸福度（GAH）指標	幸福実感	健康・福祉	健康の実感	体の健康	運動の実施
					健康的な食生活
					体の休息
				心の健康	つながり★※
					自分の役割
					心の安らぎ
				健康環境	医療の充実
					福祉の充実
				子育て・教育※1	子どもの成長の実感
		「生きる力」の習得			
		家族関係	親子コミュニケーション		
			家族の理解・協力		
		子育て教育環境	子育て・教育環境の充実		
			地域の子育てへの理解・協力 望む子育てができる環境の充実		
		産業	生活のゆとり	仕事	生活の安定★
					ワーク・ライフ・バランス
					仕事のやりがい
				地域経済	まちの産業
					買い物の利便性 まちの魅力
		環境	生活環境の充実	利便性・ユニバーサルデザイン	施設のバリアフリー
心のバリアフリー					
交通利便性					
快適性	まちなみの良さ				
	周辺環境の快適さ★				
持続可能性	持続可能性				
	文化	充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感	余暇活動	興味・関心事への取組	
生涯学習環境の充実					
地域文化		地域への愛着			
		地域の人との交流の充実			
		地域に頼れる人がいる実感			
		文化的寛容性			
安全・安心	安全・安心の実感	犯罪	防犯性★		
			事故	交通安全性★	
		災害		生活安全性★	
			個人の備え		
			災害時の絆・助け合い 防災性		

※「上位指標」とは、各分野の総合的な実感を把握するための指標を言います。

※「下位指標」とは、各分野のより具体的な実感を把握するための指標を言います。

※★印の指標は、質問文で「孤独を感じますか」「不安を感じますか」「危険を感じますか」など、負の実感を尋ねています。

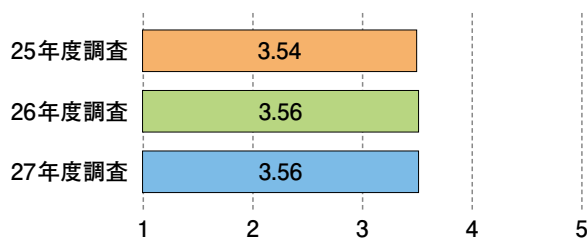
※1 子育て・教育分野は、18歳未満の子どもがいるの方のみを対象とした設問（指標）になります。

(3) 「荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査」

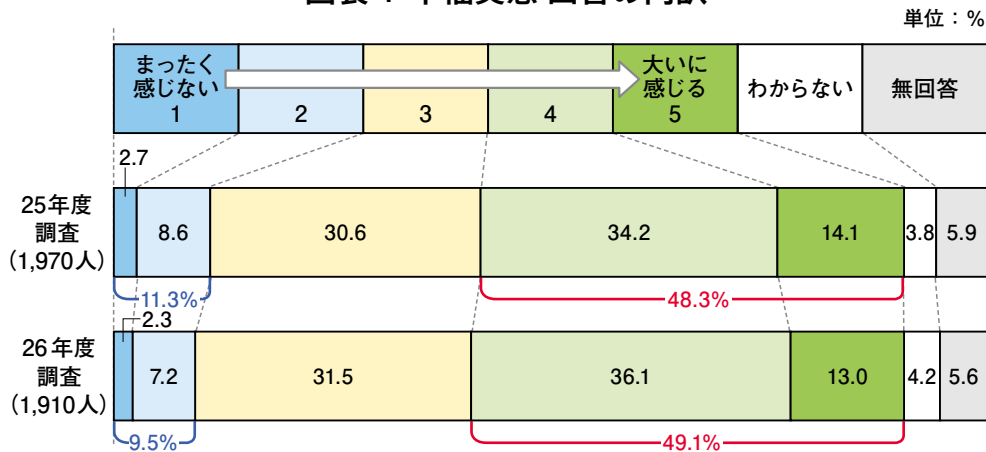
区では、前述の指標を用いて平成25年度から「荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査」（以下「区民アンケート調査」という。）を実施しています。

区民アンケート調査では、「健康・福祉」、「子育て・教育」、「産業」、「環境」、「文化」、「安全・安心」の6つの分野において、区民の皆様が日々の生活の中で感じていることや地域について実感していることなどを伺います。図表2に示したそれぞれの指標についての実感を1（まったく感じない）から5（大いに感じる）までの5段階でお答えいただき、区民の幸福実感度を計測しました。（図表3、図表4）

図表3 全体の平均幸福実感度



図表4 幸福実感 回答の内訳



(4) GAH指標の荒川区基本計画への活用

区では、区民アンケート調査や指標の動向を分析しながら、今より幸福を感じられるようになるには何が必要か、皆様とともに地域の課題を解決するにはどのようにすればよいのかを考え、よりよい区民サービスの実現を目指しています。

荒川区基本計画（平成29年度～平成38年度）においても、「健康・福祉」、「子育て・教育」、「産業」、「環境」、「文化」、「安全・安心」の6つの分野における実感度を分析し、今後の方向性を検討しました。（分野別の実感度については「第2章 分野別の政策・施策」に記載。）

図表2 荒川区民総幸福度（GAH）の指標の質問文一覧

No.	指 標	質問文
1	幸福実感	あなたは幸せだと感じますか？
健康・福祉	2 運動の実施	体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？
	3 健康的な食生活	健康的な食生活を送ることができていると感じますか？
	4 体の休息	体を休めることができていると感じますか？
	5 つながり★	孤立感や孤独感を感じますか？
	6 自分の役割	家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？
	7 心の安らぎ	心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？
	8 医療の充実	お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？
	9 福祉の充実	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？
	10 健康の実感	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？
	子育て・教育	11 規則正しい生活習慣
12 「生きる力」の習得		お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？
13 親子コミュニケーション		親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？
14 家族の理解・協力		あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？
15 子育て・教育環境の充実		お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間か行政かを問わず）が充実していると思いますか？
16 地域の子育てへの理解・協力		お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？
17 望む子育てができる環境の充実		自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？
18 子どもの成長の実感		お子さんが健やかに成長していると感じますか？
産 業	19 生活の安定★	生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じますか？
	20 ワーク・ライフ・バランス	仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？
	21 仕事のやりがい	仕事に、やりがいや充実感を感じますか？
	22 まちの産業	荒川区の企業（お店や工場など）は元気で活力があると感じますか？
	23 買い物の利便性	お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？
	24 まちの魅力	荒川区は、区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？
	25 生活のゆとり	経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？
環 境	26 施設のバリアフリー	お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、誰もが使いやすいと思いますか？
	27 心のバリアフリー	お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？
	28 交通利便性	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？
	29 まちなみの良さ	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
	30 周辺環境の快適さ★	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
	31 持続可能性	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？
	32 生活環境の充実	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？
文 化	33 興味・関心事への取組	興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？
	34 生涯学習環境の充実	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？
	35 地域への愛着	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？
	36 地域の人との交流の充実	お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？
	37 地域に頼れる人がいる実感	お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？
	38 文化的寛容性	お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか？
	39 充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感	充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？
安全・安心	40 防犯性★	お住まいの地域で、犯罪への不安を感じますか？
	41 交通安全性★	お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？
	42 生活安全性★	家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じますか？
	43 個人の備え	災害（地震・火災・風水害）に対する備えを十分にしている安心感がありますか？
	44 災害時の絆・助け合い	災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じますか？
	45 防災性	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
	46 安全・安心の実感	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？

